

Q0001

システム企画・要件

タグ：要求工学

用語：要求工学の定義と役割（確認パターン1）

「要求工学」と「要求変更管理」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動
- B. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動
- C. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式
- D. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則

答え・解説

Q0001 正答：A. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動

解説：「要求工学」は、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0002

システム企画・要件

タグ：要求工学

用語：要求工学の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動」

- A. 要求変更管理
- B. マイクロサービス
- C. 要求工学
- D. 疎結合

答え・解説

Q0002 正答：C. 要求工学

解説：「要求工学」は、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0003

システム企画・要件

タグ：要求工学

用語：要求工学の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「要求工学」は、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0003 正答：○

解説：「要求工学」は、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0004

システム企画・要件

タグ：要求工学

用語：要求工学の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「要求工学」は、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：×

解説：×です。「要求工学」は利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。問題文の説明は「クライアントサーバ」の内容で、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0005

システム企画・要件

タグ：要求工学

用語：要求工学の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 要求工学
- B. 要求変更管理
- C. マイクロサービス
- D. 疎結合

答え・解説

Q0005 正答：A. 要求工学

解説：「要求工学」は、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0006

システム企画・要件

タグ：要求工学

用語：要求工学の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「要求工学」と関連用語「マイクロサービス」を整理する。「要求工学」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則
- B. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式
- C. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動
- D. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動

答え・解説

Q0006 正答：C. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動

解説：「要求工学」は、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0007

システム企画・要件

タグ：ステークホルダ

用語：ステークホルダの定義と役割（確認パターン1）

「ステークホルダ」と「受入基準」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準
- B. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ
- C. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織
- D. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則

答え・解説

Q0007 正答：C. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織

解説：「ステークホルダ」は、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0008

システム企画・要件

タグ：ステークホルダ

用語：ステークホルダの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織」

- A. ステークホルダ
- B. 受入基準
- C. SOA
- D. 高凝集

答え・解説

Q0008 正答：A. ステークホルダ

解説：「ステークホルダ」は、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0009

システム企画・要件

タグ：ステークホルダ

用語：ステークホルダの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「ステークホルダ」は、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0009 正答：○

解説：「ステークホルダ」は、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0010

システム企画・要件

タグ：ステークホルダ

用語：ステークホルダの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「ステークホルダ」は、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0010 正答：×

解説：×です。「ステークホルダ」はシステムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。問題文の説明は「三層アーキテクチャ」の内容で、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0011

システム企画・要件

タグ：ステークホルダ

用語：ステークホルダの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 受入基準
- B. SOA
- C. ステークホルダ
- D. 高凝集

答え・解説

Q0011 正答：C. ステークホルダ

解説：「ステークホルダ」は、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0012

システム企画・要件

タグ：ステークホルダ

用語：ステークホルダの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「ステークホルダ」と関連用語「SOA」を整理する。「ステークホルダ」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織
- B. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則
- C. 再利用可能なサービスを標準的なインタフェースで連携させるアーキテクチャ
- D. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準

答え・解説

Q0012 正答：A. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織

解説：「ステークホルダ」は、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0013

システム企画・要件

タグ：機能要件

用語：機能要件の定義と役割（確認パターン1）

「機能要件」と「アーキテクチャ」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件
- B. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造
- C. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インターフェース
- D. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計

答え・解説

Q0013 正答：A. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件

解説：「機能要件」は、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0014

システム企画・要件

タグ：機能要件

用語：機能要件の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「システムが提供すべき処理や機能を定義する要件」

- A. アーキテクチャ
- B. API
- C. 機能要件
- D. 可用性設計

答え・解説

Q0014 正答：C. 機能要件

解説：「機能要件」は、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0015

システム企画・要件

タグ：機能要件

用語：機能要件の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「機能要件」は、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0015 正答：○

解説：「機能要件」は、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0016

システム企画・要件

タグ：機能要件

用語：機能要件の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「機能要件」は、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：×です。「機能要件」はシステムが提供すべき処理や機能を定義する要件。問題文の説明は「マイクロサービス」の内容で、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0017

システム企画・要件

タグ：機能要件

用語：機能要件の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「システムが提供すべき処理や機能を定義する要件」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 機能要件
- B. アーキテクチャ
- C. API
- D. 可用性設計

答え・解説

Q0017 正答：A. 機能要件

解説：「機能要件」は、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0018

システム企画・要件

タグ：機能要件

用語：機能要件の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「機能要件」と関連用語「API」を整理する。「機能要件」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計
- B. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース
- C. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件
- D. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造

答え・解説

Q0018 正答：C. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件

解説：「機能要件」は、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0019

システム企画・要件

タグ：非機能要件

用語：非機能要件の定義と役割（確認パターン1）

「非機能要件」と「レイヤードアーキテクチャ」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造
- B. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル
- C. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件
- D. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計

答え・解説

Q0019 正答：C. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件

解説：「非機能要件」は、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0020

システム企画・要件

タグ：非機能要件

用語：非機能要件の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件」

- A. 非機能要件
- B. レイヤードアーキテクチャ
- C. REST
- D. 性能設計

答え・解説

Q0020 正答：A. 非機能要件

解説：「非機能要件」は、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0021

システム企画・要件

タグ：非機能要件

用語：非機能要件の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「非機能要件」は、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0021 正答：○

解説：「非機能要件」は、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0022

システム企画・要件

タグ：非機能要件

用語：非機能要件の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「非機能要件」は、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0022 正答：×

解説：×です。「非機能要件」は性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。問題文の説明は「SOA」の内容で、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0023

システム企画・要件

タグ：非機能要件

用語：非機能要件の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. レイヤードアーキテクチャ
- B. REST
- C. 非機能要件
- D. 性能設計

答え・解説

Q0023 正答：C. 非機能要件

解説：「非機能要件」は、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0024

システム企画・要件

タグ：非機能要件

用語：非機能要件の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「非機能要件」と関連用語「REST」を整理する。「非機能要件」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件
- B. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計
- C. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル
- D. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造

答え・解説

Q0024 正答：A. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件

解説：「非機能要件」は、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0025

システム企画・要件

タグ：ユースケース

用語：ユースケースの定義と役割（確認パターン1）

「ユースケース」と「クライアントサーバ」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル
- B. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成
- C. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構
- D. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動

答え・解説

Q0025 正答：A. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル

解説：「ユースケース」は、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0026

システム企画・要件

タグ：ユースケース

用語：ユースケースの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル」

- A. クライアントサーバ
- B. メッセージキュー
- C. ユースケース
- D. キャパシティ設計

答え・解説

Q0026 正答：C. ユースケース

解説：「ユースケース」は、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0027

システム企画・要件

タグ：ユースケース

用語：ユースケースの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「ユースケース」は、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0027 正答：○

解説：「ユースケース」は、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0028

システム企画・要件

タグ：ユースケース

用語：ユースケースの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「ユースケース」は、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0028 正答：×

解説：×です。「ユースケース」は利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。問題文の説明は「API」の内容で、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0029

システム企画・要件

タグ：ユースケース

用語：ユースケースの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. ユースケース
- B. クライアントサーバ
- C. メッセージキュー
- D. キャパシティ設計

答え・解説

Q0029 正答：A. ユースケース

解説：「ユースケース」は、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0030

システム企画・要件

タグ：ユースケース

用語：ユースケースの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「ユースケース」と関連用語「メッセージキュー」を整理する。「ユースケース」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動
- B. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構
- C. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル
- D. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成

答え・解説

Q0030 正答：C. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル

解説：「ユースケース」は、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0031

システム企画・要件

タグ：ユーザーストーリー

用語：ユーザーストーリーの定義と役割（確認パターン1）

「ユーザーストーリー」と「三層アーキテクチャ」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成
- B. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ
- C. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述
- D. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動

答え・解説

Q0031 正答：C. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述

解説：「ユーザーストーリー」は、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0032

システム企画・要件

タグ：ユーザーストーリー

用語：ユーザーストーリーの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述」

- A. ユーザーストーリー
- B. 三層アーキテクチャ
- C. イベント駆動
- D. 要求工学

答え・解説

Q0032 正答：A. ユーザーストーリー

解説：「ユーザーストーリー」は、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0033

システム企画・要件

タグ：ユーザーストーリー

用語：ユーザーストーリーの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「ユーザーストーリー」は、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0033 正答：○

解説：「ユーザーストーリー」は、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0034

システム企画・要件

タグ：ユーザーストーリー

用語：ユーザーストーリーの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「ユーザーストーリー」は、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：×です。「ユーザーストーリー」は利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。問題文の説明は「REST」の内容で、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0035

システム企画・要件

タグ：ユーザーストーリー

用語：ユーザーストーリーの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 三層アーキテクチャ
- B. イベント駆動
- C. ユーザーストーリー
- D. 要求工学

答え・解説

Q0035 正答：C. ユーザーストーリー

解説：「ユーザーストーリー」は、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0036

システム企画・要件

タグ：ユーザーストーリー

用語：ユーザーストーリーの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「ユーザーストーリー」と関連用語「イベント駆動」を整理する。「ユーザーストーリー」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述
- B. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動
- C. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ
- D. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成

答え・解説

Q0036 正答：A. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述

解説：「ユーザーストーリー」は、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0037

システム企画・要件

タグ：プロトタイピング

用語：プロトタイピングの定義と役割（確認パターン1）

「プロトタイピング」と「マイクロサービス」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法
- B. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式
- C. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則
- D. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織

答え・解説

Q0037 正答：A. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法

解説：「プロトタイピング」は、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0038

システム企画・要件

タグ：プロトタイピング

用語：プロトタイピングの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法」

- A. マイクロサービス
- B. 疎結合
- C. プロトタイピング
- D. ステークホルダ

答え・解説

Q0038 正答：C. プロトタイピング

解説：「プロトタイピング」は、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0039

システム企画・要件

タグ：プロトタイピング

用語：プロトタイピングの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「プロトタイピング」は、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0039 正答：○

解説：「プロトタイピング」は、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0040

システム企画・要件

タグ：プロトタイピング

用語：プロトタイピングの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「プロトタイピング」は、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：×

解説：×です。「プロトタイピング」は試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。問題文の説明は「メッセージキュー」の内容で、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0041

システム企画・要件

タグ：プロトタイピング

用語：プロトタイピングの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. プロトタイピング
- B. マイクロサービス
- C. 疎結合
- D. ステークホルダ

答え・解説

Q0041 正答：A. プロトタイピング

解説：「プロトタイピング」は、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0042

システム企画・要件

タグ：プロトタイピング

用語：プロトタイピングの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「プロトタイピング」と関連用語「疎結合」を整理する。「プロトタイピング」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織
- B. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則
- C. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法
- D. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式

答え・解説

Q0042 正答：C. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法

解説：「プロトタイピング」は、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0043

システム企画・要件

タグ：要求トレーサビリティ

用語：要求トレーサビリティの定義と役割（確認パターン1）

「要求トレーサビリティ」と「SOA」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ
- B. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則
- C. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること
- D. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件

答え・解説

Q0043 正答：C. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること

解説：「要求トレーサビリティ」は、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0044

システム企画・要件

タグ：要求トレーサビリティ

用語：要求トレーサビリティの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること」

- A. 要求トレーサビリティ
- B. SOA
- C. 高凝集
- D. 機能要件

答え・解説

Q0044 正答：A. 要求トレーサビリティ

解説：「要求トレーサビリティ」は、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0045

システム企画・要件

タグ：要求トレーサビリティ

用語：要求トレーサビリティの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「要求トレーサビリティ」は、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0045 正答：○

解説：「要求トレーサビリティ」は、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0046

システム企画・要件

タグ：要求トレーサビリティ

用語：要求トレーサビリティの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「要求トレーサビリティ」は、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0046 正答：×

解説：×です。「要求トレーサビリティ」は要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。問題文の説明は「イベント駆動」の内容で、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0047

システム企画・要件

タグ：要求トレーサビリティ

用語：要求トレーサビリティの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. SOA
- B. 高凝集
- C. 要求トレーサビリティ
- D. 機能要件

答え・解説

Q0047 正答：C. 要求トレーサビリティ

解説：「要求トレーサビリティ」は、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0048

システム企画・要件

タグ：要求トレーサビリティ

用語：要求トレーサビリティの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「要求トレーサビリティ」と関連用語「高凝集」を整理する。「要求トレーサビリティ」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること
- B. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件
- C. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則
- D. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ

答え・解説

Q0048 正答：A. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること

解説：「要求トレーサビリティ」は、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0049

システム企画・要件

タグ：要求変更管理

用語：要求変更管理の定義と役割（確認パターン1）

「要求変更管理」と「API」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動
- B. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インターフェース
- C. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計
- D. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件

答え・解説

Q0049 正答：A. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動

解説：「要求変更管理」は、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0050

システム企画・要件

タグ：要求変更管理

用語：要求変更管理の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動」

- A. API
- B. 可用性設計
- C. 要求変更管理
- D. 非機能要件

答え・解説

Q0050 正答：C. 要求変更管理

解説：「要求変更管理」は、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0051

システム企画・要件

タグ：要求変更管理

用語：要求変更管理の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「要求変更管理」は、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0051 正答：○

解説：「要求変更管理」は、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0052

システム企画・要件

タグ：要求変更管理

用語：要求変更管理の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「要求変更管理」は、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：×です。「要求変更管理」は要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。問題文の説明は「疎結合」の内容で、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0053

システム企画・要件

タグ：要求変更管理

用語：要求変更管理の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 要求変更管理
- B. API
- C. 可用性設計
- D. 非機能要件

答え・解説

Q0053 正答：A. 要求変更管理

解説：「要求変更管理」は、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0054

システム企画・要件

タグ：要求変更管理

用語：要求変更管理の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「要求変更管理」と関連用語「可用性設計」を整理する。「要求変更管理」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件
- B. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計
- C. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動
- D. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース

答え・解説

Q0054 正答：C. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動

解説：「要求変更管理」は、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0055

システム企画・要件

タグ：受入基準

用語：受入基準の定義と役割（確認パターン1）

「受入基準」と「REST」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル
- B. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計
- C. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準
- D. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル

答え・解説

Q0055 正答：C. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準

解説：「受入基準」は、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0056

システム企画・要件

タグ：受入基準

用語：受入基準の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準」

- A. 受入基準
- B. REST
- C. 性能設計
- D. ユースケース

答え・解説

Q0056 正答：A. 受入基準

解説：「受入基準」は、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0057

システム企画・要件

タグ：受入基準

用語：受入基準の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「受入基準」は、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0057 正答：○

解説：「受入基準」は、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0058

システム企画・要件

タグ：受入基準

用語：受入基準の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「受入基準」は、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：×

解説：×です。「受入基準」は成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。問題文の説明は「高凝集」の内容で、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0059

システム企画・要件

タグ：受入基準

用語：受入基準の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. REST
- B. 性能設計
- C. 受入基準
- D. ユースケース

答え・解説

Q0059 正答：C. 受入基準

解説：「受入基準」は、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0060

システム企画・要件

タグ：受入基準

用語：受入基準の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「受入基準」と関連用語「性能設計」を整理する。「受入基準」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準
- B. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル
- C. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計
- D. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル

答え・解説

Q0060 正答：A. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準

解説：「受入基準」は、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0061

システム企画・要件

タグ：アーキテクチャ

用語：アーキテクチャの定義と役割（確認パターン1）

「アーキテクチャ」と「メッセージキュー」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造
- B. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構
- C. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動
- D. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述

答え・解説

Q0061 正答：A. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造

解説：「アーキテクチャ」は、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0062

システム企画・要件

タグ：アーキテクチャ

用語：アーキテクチャの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造」

- A. メッセージキュー
- B. キャパシティ設計
- C. アーキテクチャ
- D. ユーザーストーリー

答え・解説

Q0062 正答：C. アーキテクチャ

解説：「アーキテクチャ」は、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0063

システム企画・要件

タグ：アーキテクチャ

用語：アーキテクチャの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「アーキテクチャ」は、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0063 正答：○

解説：「アーキテクチャ」は、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0064

システム企画・要件

タグ：アーキテクチャ

用語：アーキテクチャの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「アーキテクチャ」は、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0064 正答：×

解説：×です。「アーキテクチャ」はシステムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。問題文の説明は「可用性設計」の内容で、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0065

システム企画・要件

タグ：アーキテクチャ

用語：アーキテクチャの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. アーキテクチャ
- B. メッセージキュー
- C. キャパシティ設計
- D. ユーザーストーリー

答え・解説

Q0065 正答：A. アーキテクチャ

解説：「アーキテクチャ」は、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0066

システム企画・要件

タグ：アーキテクチャ

用語：アーキテクチャの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「アーキテクチャ」と関連用語「キャパシティ設計」を整理する。「アーキテクチャ」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述
- B. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動
- C. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造
- D. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構

答え・解説

Q0066 正答：C. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造

解説：「アーキテクチャ」は、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0067

システム企画・要件

タグ：レイヤードアーキテクチャ

用語：レイヤードアーキテクチャの定義と役割（確認パターン1）

「レイヤードアーキテクチャ」と「イベント駆動」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ
- B. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動
- C. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造
- D. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法

答え・解説

Q0067 正答：C. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造

解説：「レイヤードアーキテクチャ」は、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0068

システム企画・要件

タグ：レイヤードアーキテクチャ

用語：レイヤードアーキテクチャの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造」

- A. レイヤードアーキテクチャ
- B. イベント駆動
- C. 要求工学
- D. プロトタイピング

答え・解説

Q0068 正答：A. レイヤードアーキテクチャ

解説：「レイヤードアーキテクチャ」は、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0069

システム企画・要件

タグ：レイヤードアーキテクチャ

用語：レイヤードアーキテクチャの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「レイヤードアーキテクチャ」は、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0069 正答：○

解説：「レイヤードアーキテクチャ」は、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0070

システム企画・要件

タグ：レイヤードアーキテクチャ

用語：レイヤードアーキテクチャの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「レイヤードアーキテクチャ」は、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：×です。「レイヤードアーキテクチャ」は責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。問題文の説明は「性能設計」の内容で、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0071

システム企画・要件

タグ：レイヤードアーキテクチャ

用語：レイヤードアーキテクチャの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. イベント駆動
- B. 要求工学
- C. レイヤードアーキテクチャ
- D. プロトタイピング

答え・解説

Q0071 正答：C. レイヤードアーキテクチャ

解説：「レイヤードアーキテクチャ」は、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0072

システム企画・要件

タグ：レイヤードアーキテクチャ

用語：レイヤードアーキテクチャの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「レイヤードアーキテクチャ」と関連用語「要求工学」を整理する。「レイヤードアーキテクチャ」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造
- B. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法
- C. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動
- D. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ

答え・解説

Q0072 正答：A. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造

解説：「レイヤードアーキテクチャ」は、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0073

システム企画・要件

タグ：クライアントサーバ

用語：クライアントサーバの定義と役割（確認パターン1）

「クライアントサーバ」と「疎結合」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成
- B. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則
- C. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織
- D. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること

答え・解説

Q0073 正答：A. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成

解説：「クライアントサーバ」は、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0074

システム企画・要件

タグ：クライアントサーバ

用語：クライアントサーバの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成」

- A. 疎結合
- B. ステークホルダ
- C. クライアントサーバ
- D. 要求トレーサビリティ

答え・解説

Q0074 正答：C. クライアントサーバ

解説：「クライアントサーバ」は、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0075

システム企画・要件

タグ：クライアントサーバ

用語：クライアントサーバの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「クライアントサーバ」は、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0075 正答：○

解説：「クライアントサーバ」は、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0076

システム企画・要件

タグ：クライアントサーバ

用語：クライアントサーバの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「クライアントサーバ」は、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：×

解説：×です。「クライアントサーバ」は要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。問題文の説明は「キャパシティ設計」の内容で、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0077

システム企画・要件

タグ：クライアントサーバ

用語：クライアントサーバの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. クライアントサーバ
- B. 疎結合
- C. ステークホルダ
- D. 要求トレーサビリティ

答え・解説

Q0077 正答：A. クライアントサーバ

解説：「クライアントサーバ」は、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0078

システム企画・要件

タグ：クライアントサーバ

用語：クライアントサーバの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「クライアントサーバ」と関連用語「ステークホルダ」を整理する。「クライアントサーバ」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること
- B. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織
- C. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成
- D. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則

答え・解説

Q0078 正答：C. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成

解説：「クライアントサーバ」は、要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0079

システム企画・要件

タグ：三層アーキテクチャ

用語：三層アーキテクチャの定義と役割（確認パターン1）

「三層アーキテクチャ」と「高凝集」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則
- B. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件
- C. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成
- D. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動

答え・解説

Q0079 正答：C. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成

解説：「三層アーキテクチャ」は、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0080

システム企画・要件

タグ：三層アーキテクチャ

用語：三層アーキテクチャの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成」

- A. 三層アーキテクチャ
- B. 高凝集
- C. 機能要件
- D. 要求変更管理

答え・解説

Q0080 正答：A. 三層アーキテクチャ

解説：「三層アーキテクチャ」は、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0081

システム企画・要件

タグ：三層アーキテクチャ

用語：三層アーキテクチャの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「三層アーキテクチャ」は、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0081 正答：○

解説：「三層アーキテクチャ」は、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0082

システム企画・要件

タグ：三層アーキテクチャ

用語：三層アーキテクチャの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「三層アーキテクチャ」は、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0082 正答：×

解説：×です。「三層アーキテクチャ」はプレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。問題文の説明は「要求工学」の内容で、利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0083

システム企画・要件

タグ：三層アーキテクチャ

用語：三層アーキテクチャの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 高凝集
- B. 機能要件
- C. 三層アーキテクチャ
- D. 要求変更管理

答え・解説

Q0083 正答：C. 三層アーキテクチャ

解説：「三層アーキテクチャ」は、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0084

システム企画・要件

タグ：三層アーキテクチャ

用語：三層アーキテクチャの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「三層アーキテクチャ」と関連用語「機能要件」を整理する。「三層アーキテクチャ」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成
- B. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動
- C. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件
- D. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則

答え・解説

Q0084 正答：A. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成

解説：「三層アーキテクチャ」は、プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0085

システム企画・要件

タグ：マイクロサービス

用語：マイクロサービスの定義と役割（確認パターン1）

「マイクロサービス」と「可用性設計」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式
- B. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計
- C. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件
- D. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準

答え・解説

Q0085 正答：A. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式

解説：「マイクロサービス」は、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0086

システム企画・要件

タグ：マイクロサービス

用語：マイクロサービスの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式」

- A. 可用性設計
- B. 非機能要件
- C. マイクロサービス
- D. 受入基準

答え・解説

Q0086 正答：C. マイクロサービス

解説：「マイクロサービス」は、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0087

システム企画・要件

タグ：マイクロサービス

用語：マイクロサービスの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「マイクロサービス」は、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0087 正答：○

解説：「マイクロサービス」は、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0088

システム企画・要件

タグ：マイクロサービス

用語：マイクロサービスの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「マイクロサービス」は、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：×です。「マイクロサービス」は小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。問題文の説明は「ステークホルダ」の内容で、システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0089

システム企画・要件

タグ：マイクロサービス

用語：マイクロサービスの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. マイクロサービス
- B. 可用性設計
- C. 非機能要件
- D. 受入基準

答え・解説

Q0089 正答：A. マイクロサービス

解説：「マイクロサービス」は、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0090

システム企画・要件

タグ：マイクロサービス

用語：マイクロサービスの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「マイクロサービス」と関連用語「非機能要件」を整理する。「マイクロサービス」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準
- B. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件
- C. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式
- D. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計

答え・解説

Q0090 正答：C. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式

解説：「マイクロサービス」は、小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0091

システム企画・要件

タグ：SOA

用語：SOAの定義と役割（確認パターン1）

「SOA」と「性能設計」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計
- B. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル
- C. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ
- D. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造

答え・解説

Q0091 正答：C. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ

解説：「SOA」は、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0092

システム企画・要件

タグ：SOA

用語：SOAの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ」

- A. SOA
- B. 性能設計
- C. ユースケース
- D. アーキテクチャ

答え・解説

Q0092 正答：A. SOA

解説：「SOA」は、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0093

システム企画・要件

タグ：SOA

用語：SOAの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「SOA」は、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0093 正答：○

解説：「SOA」は、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0094

システム企画・要件

タグ：SOA

用語：SOAの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「SOA」は、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0094 正答：×

解説：×です。「SOA」は再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。問題文の説明は「機能要件」の内容で、システムが提供すべき処理や機能を定義する要件。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0095

システム企画・要件

タグ：SOA

用語：SOAの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 性能設計
- B. ユースケース
- C. SOA
- D. アーキテクチャ

答え・解説

Q0095 正答：C. SOA

解説：「SOA」は、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0096

システム企画・要件

タグ：SOA

用語：SOAの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「SOA」と関連用語「ユースケース」を整理する。「SOA」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ
- B. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造
- C. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル
- D. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計

答え・解説

Q0096 正答：A. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ

解説：「SOA」は、再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0097

システム企画・要件

タグ：API

用語：APIの定義と役割（確認パターン1）

「API」と「キャパシティ設計」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース
- B. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動
- C. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述
- D. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造

答え・解説

Q0097 正答：A. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース

解説：「API」は、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0098

システム企画・要件

タグ：API

用語：APIの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース」

- A. キャパシティ設計
- B. ユーザーストーリー
- C. API
- D. レイヤードアーキテクチャ

答え・解説

Q0098 正答：C. API

解説：「API」は、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0099

システム企画・要件

タグ：API

用語：APIの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「API」は、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0099 正答：○

解説：「API」は、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0100

システム企画・要件

タグ：API

用語：APIの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「API」は、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0100 正答：×

解説：×です。「API」はソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。問題文の説明は「非機能要件」の内容で、性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0101

システム企画・要件

タグ：API

用語：APIの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. API
- B. キャパシティ設計
- C. ユーザーストーリー
- D. レイヤードアーキテクチャ

答え・解説

Q0101 正答：A. API

解説：「API」は、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0102

システム企画・要件

タグ：API

用語：APIの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「API」と関連用語「ユーザーストーリー」を整理する。「API」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造
- B. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述
- C. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース
- D. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動

答え・解説

Q0102 正答：C. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース

解説：「API」は、ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0103

システム企画・要件

タグ：REST

用語：RESTの定義と役割（確認パターン1）

「REST」と「要求工学」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動
- B. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法
- C. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル
- D. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成

答え・解説

Q0103 正答：C. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル

解説：「REST」は、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0104

システム企画・要件

タグ：REST

用語：RESTの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル」

- A. REST
- B. 要求工学
- C. プロトタイピング
- D. クライアントサーバ

答え・解説

Q0104 正答：A. REST

解説：「REST」は、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0105

システム企画・要件

タグ：REST

用語：RESTの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「REST」は、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0105 正答：○

解説：「REST」は、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0106

システム企画・要件

タグ：REST

用語：RESTの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「REST」は、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0106 正答：×

解説：×です。「REST」はリソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。問題文の説明は「ユースケース」の内容で、利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0107

システム企画・要件

タグ：REST

用語：RESTの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 要求工学
- B. プロトタイピング
- C. REST
- D. クライアントサーバ

答え・解説

Q0107 正答：C. REST

解説：「REST」は、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0108

システム企画・要件

タグ：REST

用語：RESTの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「REST」と関連用語「プロトタイピング」を整理する。「REST」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル
- B. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成
- C. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法
- D. 利害関係者のニーズを引き出し分析・仕様化・検証・管理する体系的活動

答え・解説

Q0108 正答：A. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル

解説：「REST」は、リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0109

システム企画・要件

タグ：メッセージキュー

用語：メッセージキューの定義と役割（確認パターン1）

「メッセージキュー」と「ステークホルダ」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構
- B. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織
- C. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること
- D. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成

答え・解説

Q0109 正答：A. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構

解説：「メッセージキュー」は、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0110

システム企画・要件

タグ：メッセージキュー

用語：メッセージキューの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構」

- A. ステークホルダ
- B. 要求トレーサビリティ
- C. メッセージキュー
- D. 三層アーキテクチャ

答え・解説

Q0110 正答：C. メッセージキュー

解説：「メッセージキュー」は、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0111

システム企画・要件

タグ：メッセージキュー

用語：メッセージキューの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「メッセージキュー」は、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0111 正答：○

解説：「メッセージキュー」は、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0112

システム企画・要件

タグ：メッセージキュー

用語：メッセージキューの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「メッセージキュー」は、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0112 正答：×

解説：×です。「メッセージキュー」は送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。問題文の説明は「ユーザーストーリー」の内容で、利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0113

システム企画・要件

タグ：メッセージキュー

用語：メッセージキューの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. メッセージキュー
- B. ステークホルダ
- C. 要求トレーサビリティ
- D. 三層アーキテクチャ

答え・解説

Q0113 正答：A. メッセージキュー

解説：「メッセージキュー」は、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0114

システム企画・要件

タグ：メッセージキュー

用語：メッセージキューの定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「メッセージキュー」と関連用語「要求トレーサビリティ」を整理する。「メッセージキュー」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成
- B. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること
- C. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構
- D. システムやプロジェクトに利害・影響をもつ個人や組織

答え・解説

Q0114 正答：C. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構

解説：「メッセージキュー」は、送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0115

システム企画・要件

タグ：イベント駆動

用語：イベント駆動の定義と役割（確認パターン1）

「イベント駆動」と「機能要件」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件
- B. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動
- C. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ
- D. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式

答え・解説

Q0115 正答：C. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ

解説：「イベント駆動」は、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0116

システム企画・要件

タグ：イベント駆動

用語：イベント駆動の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ」

- A. イベント駆動
- B. 機能要件
- C. 要求変更管理
- D. マイクロサービス

答え・解説

Q0116 正答：A. イベント駆動

解説：「イベント駆動」は、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0117

システム企画・要件

タグ：イベント駆動

用語：イベント駆動の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「イベント駆動」は、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0117 正答：○

解説：「イベント駆動」は、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0118

システム企画・要件

タグ：イベント駆動

用語：イベント駆動の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「イベント駆動」は、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0118 正答：×

解説：×です。「イベント駆動」は状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。問題文の説明は「プロトタイピング」の内容で、試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0119

システム企画・要件

タグ：イベント駆動

用語：イベント駆動の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 機能要件
- B. 要求変更管理
- C. イベント駆動
- D. マイクロサービス

答え・解説

Q0119 正答：C. イベント駆動

解説：「イベント駆動」は、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0120

システム企画・要件

タグ：イベント駆動

用語：イベント駆動の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「イベント駆動」と関連用語「要求変更管理」を整理する。「イベント駆動」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ
- B. 小さな独立サービスを疎結合に組み合わせてシステムを構成する方式
- C. 要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動
- D. システムが提供すべき処理や機能を定義する要件

答え・解説

Q0120 正答：A. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ

解説：「イベント駆動」は、状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0121

システム企画・要件

タグ：疎結合

用語：疎結合の定義と役割（確認パターン1）

「疎結合」と「非機能要件」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則
- B. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件
- C. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準
- D. 再利用可能なサービスを標準的インタフェースで連携させるアーキテクチャ

答え・解説

Q0121 正答：A. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則

解説：「疎結合」は、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0122

システム企画・要件

タグ：疎結合

用語：疎結合の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則」

- A. 非機能要件
- B. 受入基準
- C. 疎結合
- D. SOA

答え・解説

Q0122 正答：C. 疎結合

解説：「疎結合」は、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0123

システム企画・要件

タグ：疎結合

用語：疎結合の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「疎結合」は、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0123 正答：○

解説：「疎結合」は、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0124

システム企画・要件

タグ：疎結合

用語：疎結合の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「疎結合」は、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0124 正答：×

解説：×です。「疎結合」は構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。問題文の説明は「要求トレーサビリティ」の内容で、要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0125

システム企画・要件

タグ：疎結合

用語：疎結合の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 疎結合
- B. 非機能要件
- C. 受入基準
- D. SOA

答え・解説

Q0125 正答：A. 疎結合

解説：「疎結合」は、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0126

システム企画・要件

タグ：疎結合

用語：疎結合の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「疎結合」と関連用語「受入基準」を整理する。「疎結合」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 再利用可能なサービスを標準的なインタフェースで連携させるアーキテクチャ
- B. 成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準
- C. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則
- D. 性能・可用性・セキュリティ・保守性など機能以外の品質要件

答え・解説

Q0126 正答：C. 構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則

解説：「疎結合」は、構成要素間の依存を小さくして変更影響を抑える設計原則。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0127

システム企画・要件

タグ：高凝集

用語：高凝集の定義と役割（確認パターン1）

「高凝集」と「ユースケース」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル
- B. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造
- C. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則
- D. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース

答え・解説

Q0127 正答：C. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則

解説：「高凝集」は、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0128

システム企画・要件

タグ：高凝集

用語：高凝集の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則」

- A. 高凝集
- B. ユースケース
- C. アーキテクチャ
- D. API

答え・解説

Q0128 正答：A. 高凝集

解説：「高凝集」は、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0129

システム企画・要件

タグ：高凝集

用語：高凝集の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「高凝集」は、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0129 正答：○

解説：「高凝集」は、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0130

システム企画・要件

タグ：高凝集

用語：高凝集の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「高凝集」は、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0130 正答：×

解説：×です。「高凝集」は一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。問題文の説明は「要求変更管理」の内容で、要求の追加・変更を影響評価し承認・履歴管理する活動。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0131

システム企画・要件

タグ：高凝集

用語：高凝集の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. ユースケース
- B. アーキテクチャ
- C. 高凝集
- D. API

答え・解説

Q0131 正答：C. 高凝集

解説：「高凝集」は、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0132

システム企画・要件

タグ：高凝集

用語：高凝集の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「高凝集」と関連用語「アーキテクチャ」を整理する。「高凝集」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則
- B. ソフトウェア機能を他のプログラムから利用するための公開インタフェース
- C. システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造
- D. 利用者とシステムの相互作用を目的達成の流れとして表すモデル

答え・解説

Q0132 正答：A. 一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則

解説：「高凝集」は、一つのモジュールに密接に関連する責務を集める設計原則。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0133

システム企画・要件

タグ：可用性設計

用語：可用性設計の定義と役割（確認パターン1）

「可用性設計」と「ユースストーリー」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計
- B. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述
- C. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造
- D. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル

答え・解説

Q0133 正答：A. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計

解説：「可用性設計」は、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0134

システム企画・要件

タグ：可用性設計

用語：可用性設計の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計」

- A. ユースストーリー
- B. レイヤードアーキテクチャ
- C. 可用性設計
- D. REST

答え・解説

Q0134 正答：C. 可用性設計

解説：「可用性設計」は、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0135

システム企画・要件

タグ：可用性設計

用語：可用性設計の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「可用性設計」は、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0135 正答：○

解説：「可用性設計」は、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0136

システム企画・要件

タグ：可用性設計

用語：可用性設計の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「可用性設計」は、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0136 正答：×

解説：×です。「可用性設計」は障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。問題文の説明は「受入基準」の内容で、成果物や機能を受け入れるため満たすべき条件を明確化した基準。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0137

システム企画・要件

タグ：可用性設計

用語：可用性設計の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 可用性設計
- B. ユーザストーリー
- C. レイヤードアーキテクチャ
- D. REST

答え・解説

Q0137 正答：A. 可用性設計

解説：「可用性設計」は、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0138

システム企画・要件

タグ：可用性設計

用語：可用性設計の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「可用性設計」と関連用語「レイヤードアーキテクチャ」を整理する。「可用性設計」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. リソース指向とHTTPの特性を活用するWeb API設計スタイル
- B. 責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造
- C. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計
- D. 利用者視点で欲しい機能と価値を簡潔に表す要求記述

答え・解説

Q0138 正答：C. 障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計

解説：「可用性設計」は、障害時にも必要なサービスを利用可能にするため冗長化等を考える設計。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0139

システム企画・要件

タグ：性能設計

用語：性能設計の定義と役割（確認パターン1）

「性能設計」と「プロトタイピング」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法
- B. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成
- C. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計
- D. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構

答え・解説

Q0139 正答：C. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計

解説：「性能設計」は、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0140

システム企画・要件

タグ：性能設計

用語：性能設計の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計」

- A. 性能設計
- B. プロトタイピング
- C. クライアントサーバ
- D. メッセージキュー

答え・解説

Q0140 正答：A. 性能設計

解説：「性能設計」は、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0141

システム企画・要件

タグ：性能設計

用語：性能設計の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「性能設計」は、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0141 正答：○

解説：「性能設計」は、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0142

システム企画・要件

タグ：性能設計

用語：性能設計の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「性能設計」は、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0142 正答：×

解説：×です。「性能設計」は応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。問題文の説明は「アーキテクチャ」の内容で、システムの主要構成要素と関係・設計原則を示す基本構造。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0143

システム企画・要件

タグ：性能設計

用語：性能設計の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. プロトタイピング
- B. クライアントサーバ
- C. 性能設計
- D. メッセージキュー

答え・解説

Q0143 正答：C. 性能設計

解説：「性能設計」は、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0144

システム企画・要件

タグ：性能設計

用語：性能設計の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「性能設計」と関連用語「クライアントサーバ」を整理する。「性能設計」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計
- B. 送信側と受信側を時間的に疎結合にする非同期メッセージ蓄積機構
- C. 要求を出すクライアントとサービスを提供するサーバに役割分担する構成
- D. 試作品を用いて要件やUIなどを早期に確認する手法

答え・解説

Q0144 正答：A. 応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計

解説：「性能設計」は、応答時間・スループット・資源量など性能目標を満たすための設計。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0145

システム企画・要件

タグ：キャパシティ設計

用語：キャパシティ設計の定義と役割（確認パターン1）

「キャパシティ設計」と「要求トレーサビリティ」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動
- B. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること
- C. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成
- D. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ

答え・解説

Q0145 正答：A. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動

解説：「キャパシティ設計」は、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0146

システム企画・要件

タグ：キャパシティ設計

用語：キャパシティ設計の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動」

- A. 要求トレーサビリティ
- B. 三層アーキテクチャ
- C. キャパシティ設計
- D. イベント駆動

答え・解説

Q0146 正答：C. キャパシティ設計

解説：「キャパシティ設計」は、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0147

システム企画・要件

タグ：キャパシティ設計

用語：キャパシティ設計の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「キャパシティ設計」は、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0147 正答：○

解説：「キャパシティ設計」は、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0148

システム企画・要件

タグ：キャパシティ設計

用語：キャパシティ設計の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「キャパシティ設計」は、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0148 正答：×

解説：×です。「キャパシティ設計」は将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。問題文の説明は「レイヤードアーキテクチャ」の内容で、責務ごとに層を分け上位層と下位層の依存を整理する構造。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0149

システム企画・要件

タグ：キャパシティ設計

用語：キャパシティ設計の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. キャパシティ設計
- B. 要求トレーサビリティ
- C. 三層アーキテクチャ
- D. イベント駆動

答え・解説

Q0149 正答：A. キャパシティ設計

解説：「キャパシティ設計」は、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0150

システム企画・要件

タグ：キャパシティ設計

用語：キャパシティ設計の定義と役割（確認パターン6）

システム企画・要件で「キャパシティ設計」と関連用語「三層アーキテクチャ」を整理する。「キャパシティ設計」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 状態変化や出来事をイベントとして通知・処理するアーキテクチャ
- B. プレゼンテーション・業務ロジック・データを分離する構成
- C. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動
- D. 要求と設計・実装・テスト成果物の対応関係を追跡可能にすること

答え・解説

Q0150 正答：C. 将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動

解説：「キャパシティ設計」は、将来負荷を予測し必要な計算・記憶・通信資源を計画する活動。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。